

四国の国有林

剣山(徳島県)



千本山(高知県)



石鎚山(愛媛県)



四国山の日

11月11日は四国山の日

四国森林管理局



屋島(香川県)

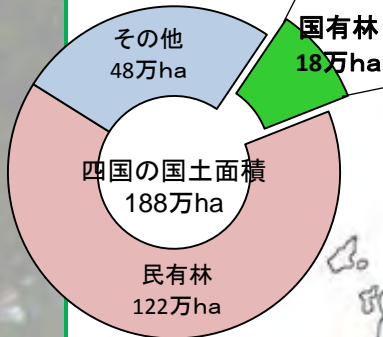
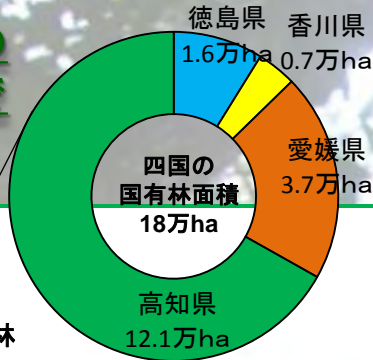
平成27年度版



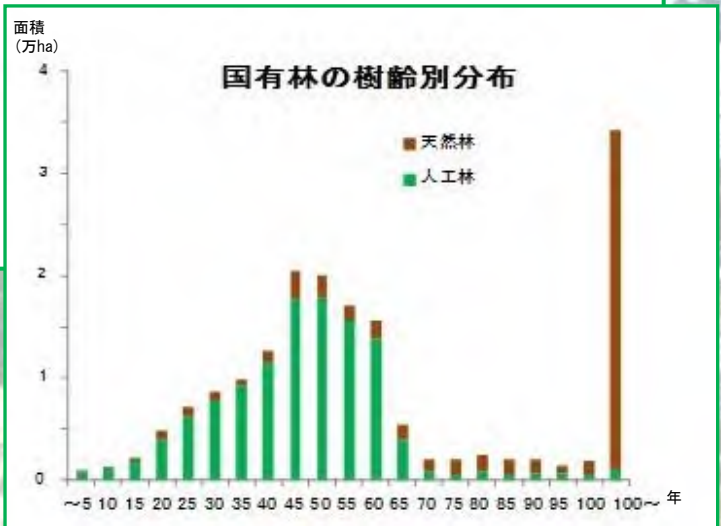
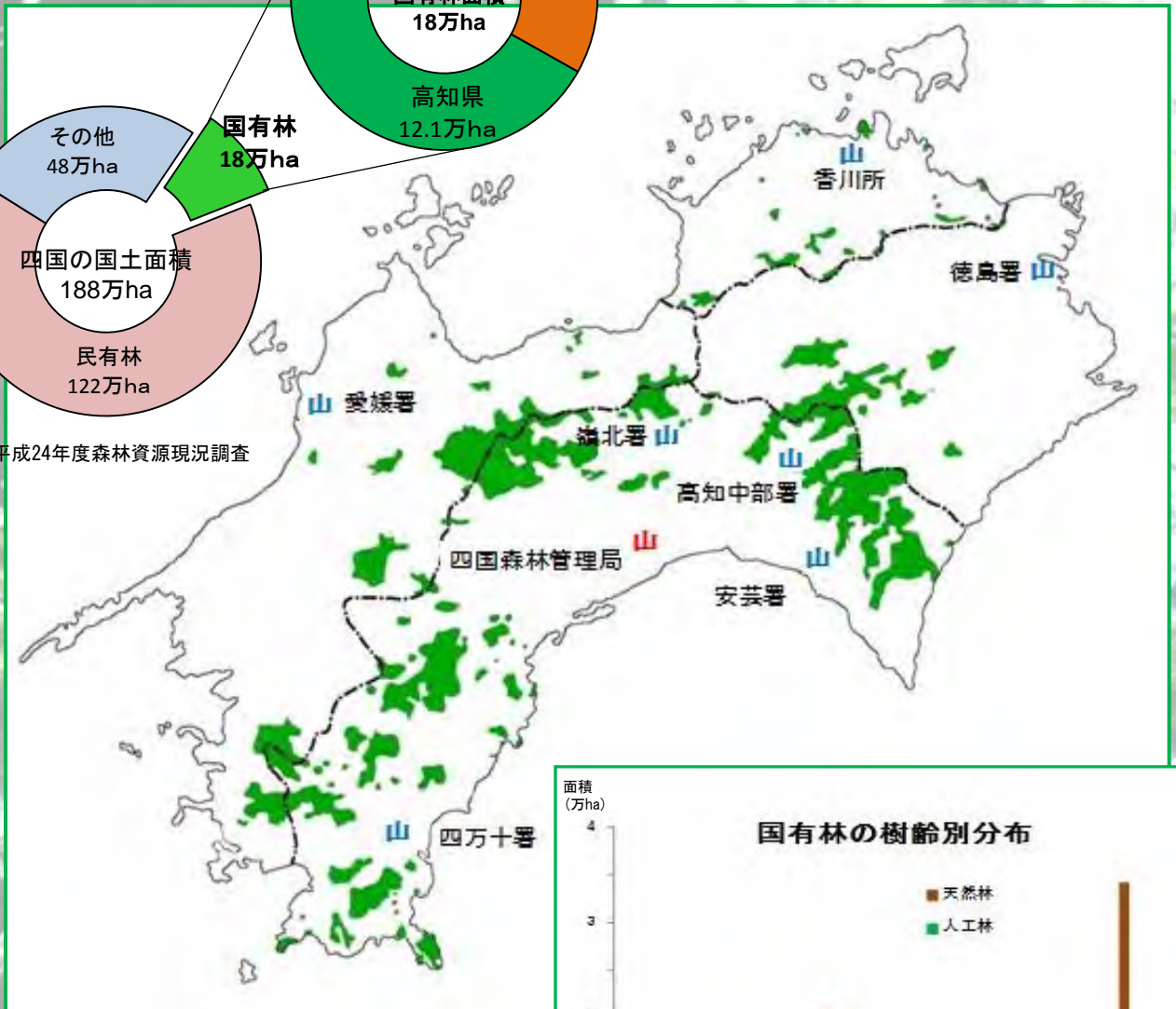
四国の国有林の特徴

四国森林管理局が管理経営する国有林野は約18万ヘクタールで、四国の国土面積の10% 森林面積の13%を占めています。森林帯区分で見ると、暖温帯林から亜寒帯林にまでわたり、標高に従い、低地から順にシイ・カシ林、モミ・ツガ林、ブナ林、シラベ林などの多様な森林で構成されています。また、温暖な気候や豊富な降水に恵まれ、藩政・明治時代から植林が進められてきたことから、国有林の約7割がスギ、ヒノキを主体とする人工林となっています。

四国の国土面積の約1割が国有林です。



※ 平成24年度森林資源現況調査



凡 例	
国有林野	
森林管理局	
森林管理署 注)香川は森林管理事務所	
県境	



公益的機能を重視した森林づくり



もり 森林づくりの考え方

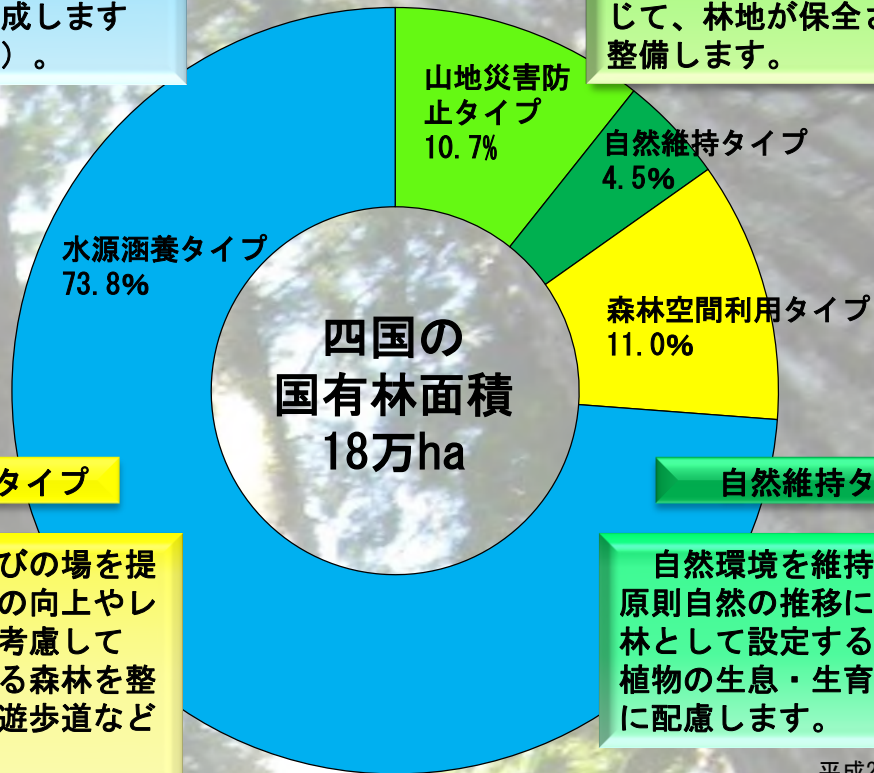
四国森林管理局では、森林の現況や位置などに応じて森林を4タイプに分けて管理しています。

水源涵養タイプ

良質で豊かな水を安定的に供給するため、適切な間伐を行い年齢や高さの異なる樹木から成る森林を育成します（育成複層林施業）。

山地災害防止タイプ

土砂流出・崩壊などの災害を防ぐため、広範囲の伐採を抑制しつつ適切な間伐等を通じて、林地が保全されるよう整備します。



森林空間利用タイプ

国民に憩いと学びの場を提供するため、景観の向上やレクリエーションに考慮して様々な樹種から成る森林を整備し、必要に応じ遊歩道などを設置します。

自然維持タイプ

自然環境を維持するため、原則自然の推移に任せ、保護林として設定するなど野生動植物の生息・生育環境の保全に配慮します。

平成27年3月31日現在

育成複層林施業

森林を構成する樹木を部分的に伐採し、その後に植栽を行うこと等により、年齢や高さの異なる樹木から構成される複層林をつくる施業です。林地が裸地化しないので、森林の公益的機能が効果的に発揮されるほか、多様な太さの木材を生産することができます。



やはたやま
八幡山国有林（愛媛県宇和島市）

もり 効率的に森林づくりを進める

森林を低コストで適切に整備するため民有林と連携したり、民間に先駆けて新しい技術を導入するなどの取組を行っています。

共同施業団地の設定

隣接する民有林と連携して作業道の整備や間伐などを行っています。



六丁地域森林整備推進協定

コンテナ苗の活用

根の活着が良く植栽時期を選ばない、容器入りの苗木を使って植林をしています。



現地検討会



コンテナ苗

エリートツリーの活用

品種改良により通常の苗木より初期生長の早い成長力を持つ苗木を使って植林をしています。



植栽された
エリートツリー



高効率な作業システム

低コストで効率的な間伐の推進に向けて、路網と高性能林業機械を組み合わせた作業システムを積極的に導入しています。



森林作業道開設



造材 (プロセッサ)

貴重な森林や生態系をまもる

原生林や貴重な野生動植物が生息・生育する森林は、多様な生態系が保全されるよう厳正に管理しています。

保護林の設定

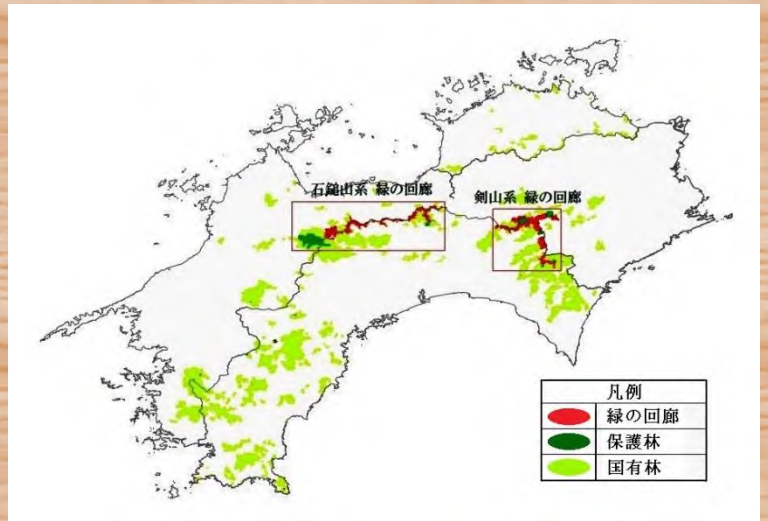
特に優れた自然環境を有する国有林 30ヶ所 6,187haを「保護林」として設定しています。



佐喜浜躍動天然杉郷土の森
平成24年10月設定（高知県室戸市）

緑の回廊の設定

野生動物の行動範囲が確保されるよう、石鎚山系から剣山系にわたる 17,524haを「緑の回廊」として保全しています。



生物のモニタリング

緑の回廊や保護林において、ツキノワグマやクマタカ等の希少な動植物の生息・生育実態を調べています。



クマタカ



Sciencelab



ツキノワグマ

緑の回廊モニタリング調査で確認されたツキノワグマ、クマタカ

地域の暮らしをまもる

災害に強く安心して暮らせる地域づくりのため、必要に応じ樹木の伐採を制限したり、土砂崩れや地すべりを防ぐ工事を行っています。

保安林の設定

保安林の種類別面積

種類	面積(千ha)
水源涵養	162
土砂流出防備	7
その他	2
計	171

国有林の93%,
170,588haを保安
林に設定し、伐
採を制限してい
ます。



水源涵養保安林 (徳島県三好市)

治山事業の実施

土砂崩れで崩壊した山腹の復旧緑化や災害を防ぐダムを設置を行っています。



(徳島県那賀町)

地すべりの防止



地すべり発生の危険がある地域で地盤の動きを常時監視したり、地すべりを防止するための工事を行います。

地すべり被害状況 (徳島県三好市)



(徳島県三好市)

森林とふれあう

国民の皆さんが自然に親しみ森林とふれあえるよう、自然景観の優れた国有林を開放しています。また、森林環境教育や森林づくり活動の場を提供しています。

レクリエーションの森

森林浴、自然観察、野外スポーツなどのため、51箇所 17,107haを提供し、約250万人（平成26年度）が利用しました。

区分	箇所数	面積 (ha)	利用者数 (平成26年度)
自然休養林	8	9,914.27	989,600
自然観察教育林	4	583.88	3,400
風景林	35	6,333.78	1,367,000
風致探勝林	1	237.52	5,000
野外スポーツ地域	1	33.90	68,000
施設数	2	4.00	139,400
計	51	17,107.35	2,572,400



大滝山自然休養林
ブナ林 遊歩道
(香川県高松市)

森林環境教育の実施

学校等と連携して森林教室、体験林業等に取り組み、約3,300人（平成26年度）が参加しました。



小学生を対象とした木エクラフト教室



中学生を対象とした
学校林での間伐体験



教職員への
森林環境教育研修会

ふれあいの森

森林づくりを希望するボランティアの皆さん向けに8ヶ所 127haの森林を提供しています。



広葉樹の補植作業



シカ食害防護ネット設置

自然再生への取組み

ニホンジカによる食害で裸地化した高知県四万十市滑床山なめとこやまでボランティアの皆さんと共にササを移植するなど被害を受けた森林の再生、植生の回復等に取り組んでいます。



回復するササ（高知県四万十市）



ボランティアとの共同による土砂流出防止のためのマット敷設（高知県香美市）



木をつかう



木材を安定して供給する

四国森林管理局は森林の整備を通じて四国全体の木材生産の1割強に当たる木材を供給しています。

計画的な木材生産

地域の木材需要が安定するよう関係者との情報交換、需要状況の把握を行いつつ木材を生産しています。



国有林材供給調整検討委員会

木材の販売

国有林で生産する木材は地元市場等を通じて製材業者等に販売しています。



原木市場の様子



文化財資源備蓄林の設定

文化財などの木造建築物や伝統的建築様式の伝承等に必要木材を生産する森林を設けています。



文化財資源備蓄林
(高知県安芸市)



修復資材使用例 こうのみねじ
(四国八十八カ所第二十七番札所神峯寺)

祖谷のかずら橋かけかえ資材の供給

国指定重要有形民俗文化財の「かずら橋」かけかえ用資材のシラクチカズラを供給しています。



地元中学生によるシラクチカズラの挿し木



(徳島県三好市)

木材の利用をふやす

木材は地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収固定する、再生可能な地球に優しい素材です。四国森林管理局では庁舎や土木工事などに木材を積極的に使っています。

木造庁舎の建設

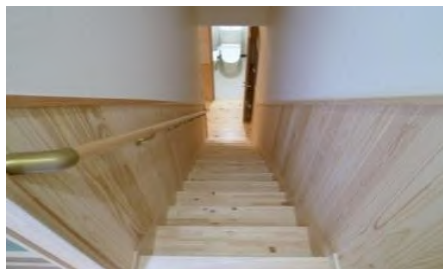
森林管理署庁舎などの木造化や内装の木質化を進めています。



四万十森林管理署
(高知県四万十市)



きとう
木頭森林事務所
(徳島県那賀町)



間伐材の利用

治山工事や林道工事に間伐材を使っています。



木製型枠を使用した谷止工



谷止工の木製枠組立状況



林道に施行した木柵工



森林・林業再生のために貢献する



森林・林業に係る技術の普及と人づくり

国有林で長年培われてきた技術や先進的な技術を広く普及するとともに、森林・林業経営を担う人材の育成に取り組んでいます。

低コスト作業 システムの普及

作業道開設技術、架線系作業システム等を学ぶ検討会を開催しています。



林業架線設備等現地検討会

フォレスターの育成

専門的かつ高度な地域・技術と現場経験を有し、地域の森林・林業経営を支援できる「森林総合監理士（フォレスター）」を育成しています。



技術者育成研修



実践研修

森林・林業研究発表会の開催

森林・林業関係者による研究・技術開発の成果を発表する会を主催し、関係者の技術の向上を図っています。



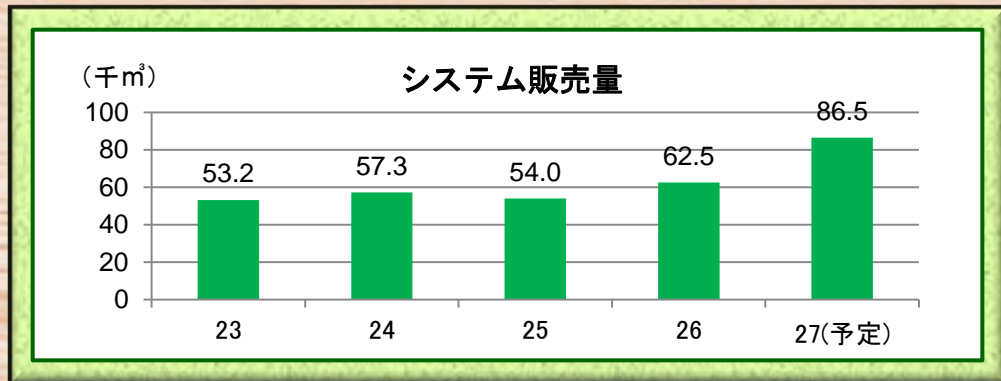
安全対策にかかる検証
(木をドラム缶の上に落下させ破壊力をみる実験)



高校生による発表

林業・木材産業の成長産業化

国産材の利用拡大などに積極的に取り組む事業者により、国有林で生産した木材を安定的に供給し（システム販売）、その取組を支えることを通じて、林業・木材産業の構造改革を進めます。



鳥獣・松くい虫被害への対応

地方自治体や住民の皆さんと連携しながら、ニホンジカや松くい虫などによる樹木への被害の防止、被害地の回復に取り組んでいます。

シカクリップ、小型囲いわなの開発・普及

シカの食害を防ぐクリップや四国森林管理局が開発した小型の囲いわなを普及しています。



シカ食害防止クリップを装着したスギの苗木



小型囲いわなの普及・支援のための説明会

松くい虫の防除

松くい虫被害の拡大を防ぎ貴重なマツ林を保全するため、被害木の伐採、薬剤散布を行っています。



松くい虫防除 (香川県高松市)

シカ捕獲の取組

三嶺地域で地元自治体、猟友会、自衛隊と協力してシカ捕獲を行いました。



予行演習の様子



連携捕獲 (実施本部)



国民の皆さんと交流する

「国民の森林」である国有林を身近に感じていただき、より理解していただくため、国民の皆さんへの広報活動や交流を進めています。

四国山の日

四国森林管理局と四国4県は11月11日を「四国山の日」と定め、森林づくり活動への表彰を行っています。



四国山の日賞表彰

グリーン・サポート・スタッフ

来訪者の多い剣山、石鎚山、工石山では公募で選ばれたグリーン・サポート・スタッフ（森林保護員）が巡視やマナーの啓発を行っています。



遊歩道の整備

国有林モニター

公募で選ばれた国有林モニターに国有林を見学していただき、国有林の事業運営などへの意見を聴いています。



国有林モニター勉強会（現地視察）



国有林モニター会議

森林ふれあい館

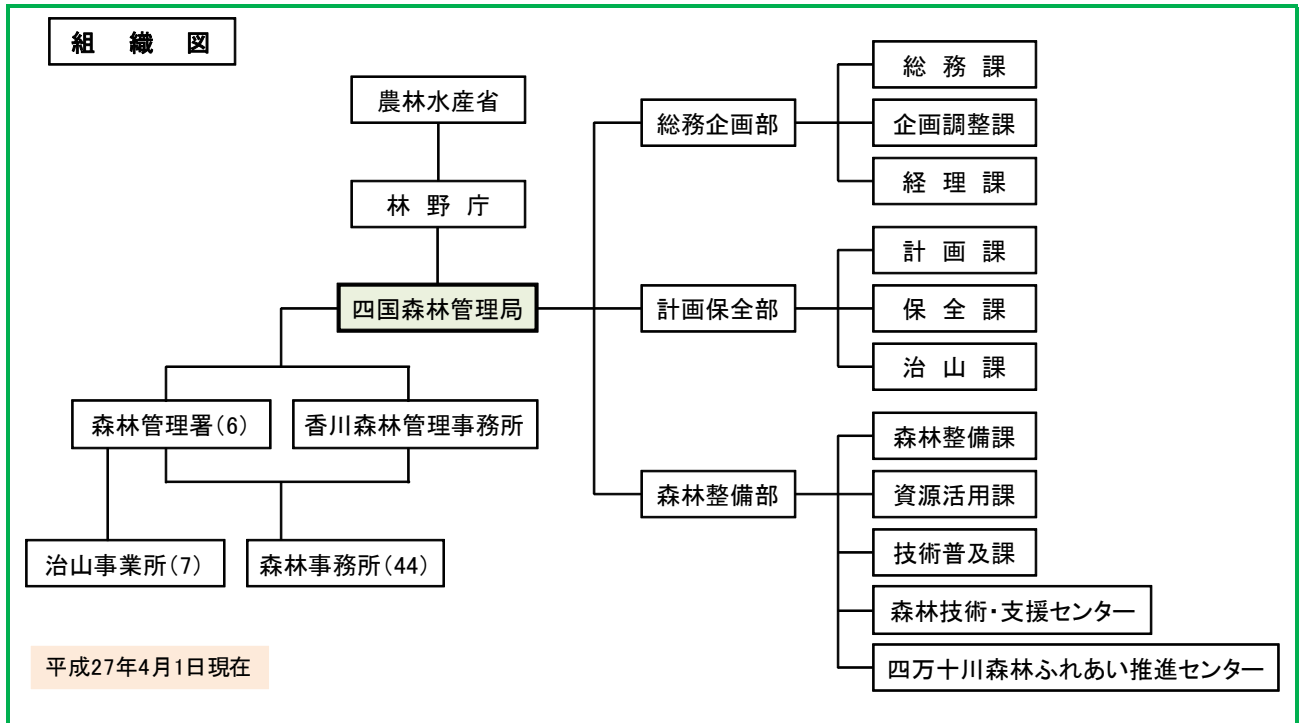
四国森林管理局1階の森林ふれあい館では、森林・林業についての展示を行ったり木工教室を開催したりしています。





沿革(四国森林管理局の歴史)

明治19(1886)年	林区署官制公布により高知大林区署、愛媛大林区署を設置
明治36(1903)年	愛媛大林区署を廃止し、高知大林区署に統合
大正13(1924)年	高知大林区署を高知営林局に改称
昭和22(1947)年	林政統一。「国有林野事業特別会計法」制定
昭和53(1978)年	「国有林野事業改善特別措置法」制定 (「国有林野事業の改善に関する計画」の策定)
平成10(1998)年	国有林野事業改革二法成立・公布 (国有林野事業の抜本的改革(集中改革期間)の開始)
平成11(1999)年	高知営林局を四国森林管理局に、 営林署を森林管理署、事務所及び局直轄の森林管理事務所に組織再編
平成16(2004)年	国有林野事業の抜本的改革の集中改革期間終了、6森林管理署1森林管理事務所体制に 組織再編、四万十川森林環境保全ふれあいセンターを設置
平成25(2013)年	国有林野事業を一般会計に移行



お問い合わせ先

名 称	所在地	電話番号	FAX番号
四国森林管理局	〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30	088-821-2210	088-821-4834
徳島森林管理署	〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1	088-637-1230	088-666-1818
香川森林管理事務所	〒761-8064 香川県高松市上之町2-8-26	087-866-6622	087-867-3043
愛媛森林管理署	〒791-8023 愛媛県松山市朝美2-6-32	089-924-0550	089-924-0598
四万十森林管理署	〒787-0003 高知県四万十市中村丸の内1707-34	0880-34-3155	0880-35-5310
嶺北森林管理署	〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山850	0887-76-2110	0887-76-3886
高知中部森林管理署	〒781-4401 高知県香美市物部町大栃1539	0887-58-3131	0887-58-2449
安芸森林管理署	〒784-0044 高知県安芸市川北乙1773-6	0887-34-3145	0887-34-3147

編集・発行: 四国森林管理局

<http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>